

## 第 72 回京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

- 1 日 時 令和 4 年 8 月 26 日（金）午後 5 時 00 分から午後 5 時 15 分まで
- 2 場 所 京都府職員福利厚生センター会議室
- 3 出席者 知事、古川副知事、鈴木副知事、企画理事、危機管理監兼危機管理部長、知事室長、職員長、総務部長、文化スポーツ部副部長、健康福祉部長、商工労働観光部長、京都府議会事務局長、教育長、警察本部長、山城広域振興局長、南丹広域振興局長、中丹広域振興局副局長、丹後広域振興局長、京都府新型コロナウイルス感染症対策専門家会議議長及び京都市危機管理監

### 4 議事録

#### 【危機管理監】

京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催します。

本日は現在の感染状況を踏まえ、今後の対応について、協議いただくこととしています。

それでは、西脇知事に会議の進行をお願いします。

#### 【知事】

まずはこの間、昼夜を分かたず、医療現場で御奮闘いただいている医療従事者の皆様、高齢者施設や学校現場、保健所等の第一線で御奮闘いただいている皆様に、心から感謝を申し上げます。

本日の新規陽性者数は 4147 人、7 日間平均は 4566.57 人で、前週増加比が 1.12 倍と、引き続き高い水準で推移しています。

医療提供体制についても、25 日現在の確保病床使用率が 62.5%で、陽性者数と同様に高い水準で推移しています。

本日はこうした状況も踏まえ、8 月 31 日までを期間としています、「京都 BA.5 対策強化宣言」の改訂について、議論したいと考えています。

まずは最近の感染状況等に関して、健康福祉部長から報告をお願いします。

#### 【健康福祉部長】

※資料 1 に基づき説明

#### 【知事】

続きまして、宣言の改訂案等について、危機管理監から事務局案の説明をお願いします。

#### 【危機管理監】

※資料 2、3 に基づき説明

#### 【知事】

ここまでの説明について、専門家会議の松井議長から御助言をよろしく申し上げます。

#### 【専門家会議議長】

現在の状況は御説明にありました通り、依然として感染者が多く、一方で重症化率は低いのですが、比較的軽症の方が病院や医療機関を多く受診されている。そのため、重症者、あるいはその他の心筋梗塞や脳卒中等の疾患をお持ちの方が医療にかかることに、少し支障をきたしている状態です。

必要なことは重症者を見逃さないこと。そして、コロナにかかわらず必要な人に必要な医療が行える体制を守るのだと思っています。

そのためには、まずお一人おひとりに基本的な感染対策を続けていただき、コロナに罹らないように心がけていただくこと。そして、仮に感染したとしても重症化しないように、積極的にワクチン接種を検討いただくことをお願いしたいと思います。

#### 【知事】

医療現場の状況、議長の方からも御紹介の通りだと思います。

引き続き、よろしく申し上げます。

次に、京都市の三科危機管理監から申し上げます。

#### 【京都市危機管理監】

お盆時期を終え、感染者数がリバウンドしているかどうかははっきりとわからないような、非常に難しい状況に見えます。

このお盆の時期に接触機会が増えていることや、無料検査の利用が増えていることでもありますので、非常に感染のデータ分析が難しい状況だなど見ておりますが、一方で医療現場、また救急医療が非常に厳しいという現状は、確かなものだろうと認識しています。

消防局においては、特設救急隊を5隊増隊し、全37隊で運用していますが、救急搬送困難事案は7月の最終週が185件と過去最多であり、その後増減を繰り返して高止まりの状況にあります。

一方で、#7119の周知、広報も積極的に行っており、大きく利用は増加している状況です。そういった効果も一定あると思いますが、救急搬送の件数自体は微減傾向にあるという状況です。

いずれにしても、予断を許さない救急の状況であることは間違いないので、しっかりと取り組んでいく必要があります。

新学期が始まり、若い方への感染拡大が非常に懸念されますので、本日の「京都 BA.5 対策強化宣言」を積極的に周知するとともに、学業との両立という観点での感染対策をしっかりととってほしいと思っています。

#### 【知事】

やはり新学期という、これからの時期の特徴があり、そこにも焦点を絞った感染防止対策が必要だということで、京都市とも引き続き連携して取り組んでまいりたいと思います。よろしく申し上げます。

その他意見なければ、この事務局案の通り、「京都 BA.5 対策強化宣言」について、改訂を行うこ

ととします。

その他各部局から報告がなければ、本日の会議の総括を申し上げます。

まず、これまでの府民や事業者の皆様への感染防止に関する御協力、また医療提供体制の拡充、ワクチン接種の推進等、改めまして、すべての皆様の御協力に感謝申し上げます。

新規陽性者数は高止まりの状態が続いていますし、コロナ患者の受入病床や発熱外来等の医療機関への負荷、さらには救急搬送困難事案も引き続き厳しい状況であるということを踏まえ、「京都 BA.5 対策強化宣言」について、9月30日までの延長を決定しました。

この取り組みを着実に、皆様に周知していく必要があると考えています。

この後の記者会見で私から呼びかけますが、関係部局においては次の3点について、万全の体制で対応をお願いします。

まずは、この「京都 BA.5 対策強化宣言」の取り組みについて、府民や事業者の皆様、市町村、関係団体等に対して幅広く、かつ丁寧に広報、説明し、御理解のもとに進めていただきたい。

2点目はワクチン接種です。希望する府民の皆様ができるだけ速やかに接種いただけるように、これは市町村とよく連携して取り組んでいただきたいと思っております。

3点目に、非常に逼迫した状況にある保健所の業務については、引き続き支援に取り組んでいただきたいと思っております。

各部局においては引き続き緊張感を持って取り組んでいただきますよう、改めてお願いします。

#### 【危機管理監】

関係の部局長におかれては、指示事項を踏まえ、万全の取り組みをお願いします。

松井議長、三科危機管理監におかれては、お忙しいところ御出席をいただき、誠にありがとうございました。

以上をもって、対策本部会議を終了します。